

福島

写真

PLUS

プロジェクト成果展

新発田

美術館

会期：2016年10月19日（水）～11月4日（金）

観覧時間：[平日] 13:00～17:00 [土日祝] 10:00～17:00

会場：金升酒造 三號蔵ギャラリー（新潟県新発田市豊町 1-9-30）

入場無料

福島写真美術館

プロジェクト成果展

PLUS

新発田

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトは、福島県会津若松市にある福島県立博物館が中核となり福島県内の大学・文化施設・NPO等との連携により実施しているアートプロジェクトです。東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故後の福島で、文化芸術による福島の復興、未来への模索を目的に2012年度から活動しています。

展開している複数のプロジェクトの一つ「福島写真美術館プロジェクト」は、震災・原発事故後いち早く福島での取材・発信を行っていた写真・映像による表現に注目し、福島における写真表現の意義を捉え直そうとするものです。

福島の子の自然の美しさ。人々の暮らしの尊さ。震災の爪痕。日々の中に落ちている原発事故の影。

それら福島の文化の豊かさと解決すべき問題について、写真や映像だからこそ伝えられる、問いかけられるアプローチを、本プロジェクトは試みてきました。

2012年から2016年にかけて福島を訪れ、それぞれの視点で「福島の今」を捉え、留めた写真家・作家たちの真摯な制作の成果は、ひとり福島のためだけではなく、日本の将来が抱えるであろう課題へのヒントとして、広くこの国で共有されるべきものと考えます。

その共有の場として「写真が伝える町の記憶」をコンセプトに活動を続けている写真のまちシバタ・プロジェクト実行委員会様との協働により成果展を開催いたします。ぜひご覧ください。



「Fukushima Samurai」
高杉 記子 (写真家)

重要無形民俗文化財「相馬野馬追」の騎馬武者を取材。数百年続く伝統的な祭礼への人々の思いを形にした。

「Sacrifice」
片桐 功敦 (華道家)

南相馬市を拠点に東日本大震災の被災地を取材、挿花、撮影。震災後の自然環境の変化と南相馬の歴史・文化をテーマに制作。



「未知(みち)の道」
安田 佐智種 (美術家)

津波被災地を取材し、被災地に残された住宅基礎をモチーフにした作品を制作。暮らしの気配と震災の傷跡を伝える。

「水源域・福島」
本郷 毅史 (写真家)

福島を代表する河川の水源をたどり写真と映像作品を制作。福島の美しい自然の象徴である水源域の光景が、福島の今を想起させる。



「山で生きる」
赤阪 友昭 (写真家)

福島県奥会津三島町の間方集落で取材、撮影。限界集落と呼ばれる山間地の暮らしの中に、自然と人との理想的な姿を見出した。

「飯館村飯館町の田植え踊り」
赤間 政昭 (写真家)

全村避難中の飯館中学校生徒が取り組む田植え踊り学習の様子を撮影。飯館村の文化・歴史の豊かさ、生徒たちの成長の姿、村人の思いなどを伝える映像作品。



「Island in my mind」
岩根 愛 (写真家)

原発事故により全村避難となった飯館村の人々の暮らし・人生の象徴でもある自宅で、その人とその住環境すべてを被写体とする写真作品を制作。



「願う者は叶えられるか」
土田 ヒロミ (写真家)

震災と原発事故により移り変わる福島の風景を撮影。避難前の暮らしの気配や復興・除染作業がもたしている現状を伝える。



「福島 2015」
村越 としや (写真家)

故郷でもある福島県須賀川市で撮影。変わらぬ自然の姿、震災による変化、土地に残る歴史の気配などを捉えた。

オープニングイベントトークセッション「写真家の見た福島」

日時:10月18日(火) 18:00~19:30 入場無料・申込不要

会場: 金升酒造 蔵カフェ

講師: 片桐 功敦 (華道家) 本郷 毅史 (写真家)

司会: 川延 安直 (福島県立博物館学芸員/はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト事務局)

トークイベント「写真の力と土地の記憶」

日時:10月26日(水) 19:00~20:30 入場無料・申込不要

会場: 金升酒造 蔵カフェ

講師: 飯沢 耕太郎 (写真評論家) 村越 としや (写真家)

司会: 川延 安直

トークイベント「写真と記憶 シバタ・フクシマ」

日時:11月2日(水) 19:00~20:30 入場無料・申込不要

会場: 金升酒造 蔵カフェ

講師: 港 千尋 (写真家/著述家)

原 亜由美 (写真の町シバタ・プロジェクト実行委員会実行委員)

司会: 小林 めぐみ (福島県立博物館学芸員/はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト事務局)

ギャラリートーク

日時:11月3日(木・祝) 11:00~12:00、15:00~17:00

会場: 金升酒造 二號蔵ギャラリー

講師: 福島県立博物館学芸員



金升酒造株式会社
新潟県新発田市豊町1丁目9-30
tel: 0254-22-3131



事業についてのお問合せ

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会事務局
〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25(福島県立博物館内)
tel: 0242-28-6000(福島県立博物館代表)*毎週月曜日、祝日の翌日は休業。
fax: 0242-28-5986(福島県立博物館内)

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトとは… 詳しくはこちら hamanakaaizu.jp

福島県立博物館が福島県内の大学、文化施設、NPO等との連携により2012年から実施しているアートプロジェクト。はま(福島県の太平洋側)、なか(東北新幹線、東北自動車道が貫く福島県の中央部)、あいづ(新潟県に隣接する福島県の山間部)で展開する活動を通して、福島の文化・歴史・自然の豊かさを再発見すること、福島が抱える課題を共有し共に考える場を生み出すことを目的としています。2016年度は、11のプロジェクトを実施。